

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	いきがい工房 さらら
-----	------------

取組の名称	地域こども・子育て支援
実施場所	川崎市川崎区浜町1-9-14 アカツキビル1F
対象地域	川崎区田島地区
対象地域の特色・課題	工業地帯に隣接しており古くから下請け会社が多く共働き家庭が多い。養育にかける家庭も多く、また労働者や外国人が多く住み核家族世帯が多いため、家庭支援が必要な地域である。こども達が安心して安全に過ごせる場所が不足しているのが課題である。核家族のために子育てを相談し頼るコミュニティーが少ないことが課題である。また一人暮らしの高齢者が気軽に集まれる場所がないのも課題といえる。
取組の趣旨・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に行く前の時間帯のこどもの見守り、特に保育園で早出保育を利用していた家庭への朝の支援。また放課後のこども達の居場所（遊びの見守りと学習支援など）の提供。</li> <li>・あかちゃんから高齢者が集い、こどもが健やかに育ち若者や大人が心ゆたかに暮らし世代を超えたふれあいが繰り広げられる身近な場所。ひととひとがつながり分かち合うことやおたがいさまといった「ゆいまーる」のような街づくりを目的とする。</li> </ul>

<b>実施内容・実施スケジュール</b>	<p>① 朝の見守り 7:00～8:00 朝食の提供と学校への送り出し</p> <p>② 放課後支援 18:00～20:00 フリースペースと宿題などの学習支援（中・高校生）</p> <p>③ 子ども食堂 17:00～19:30（月1回）</p> <p>④ こそだて支援 10:00～11:00（月1回） おもちゃ広場 9:30～15:00（週1回） こそだてひろば</p>		
<b>参加者の年代</b>	乳幼児・10代 20～30代	<b>定員</b> （1回あたり）	1～5名 こども食堂120名
<b>実施頻度</b>	週5日	<b>活動日数</b> （年間）	<b>計</b> <b>202日</b>
<b>スタッフ体制</b>	朝の見守り       1名 夜の活動         2名 子ども食堂      10名 こそだて支援     3名		
<b>連携する団体・連携の手法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合同会社ゆいまーるに勉強会の夕食の提供と会場の貸し出しをしてもらった。</li> <li>・おむすびかふえサララの利用者にボランティアの協力を呼び掛けてもらった。</li> <li>・近隣保育園（あいせん保育園・わたりだ保育園・桜本保育園）にチラシを配布して早出保育利用の保護者に呼びかけてもらった。</li> <li>・田島支所や町内会にチラシの配布など広報をしてもらった。</li> <li>・コストコのフードロス対策と連携することでひとり親家庭にフードパントリーとして毎週提供する。</li> </ul>		

<p>取組実施により 見込まれた効果</p>	<p>朝の見守り 朝登校する子どもたちに声をかけることでコミュニケーションが生まれ見守ってもらえるという場所として認識してもらえた。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・夜の活動 塾に通うことのできない子や勉強スペースのない子のスペースとして活用。宿題の手伝いから始まり苦手な科目を寄り添って教えてもらえることで自信が付いてきている。中学3年生の高校受験に寄り添い無事合格することができ小学生とともに祝うことで勉強する楽しさを共有できた。</li><li>・子ども食堂は忙しい保護者の支援と個食の高齢者にも声をかけ行うことで月1回の楽しみになっている。ボランティアも月1回顔を合わせることでお互いの交流をして元気もらっている。子ども食堂でのコミュニケーションからひとり親家庭に限定したフードパントリーへの支援をつなげることができてきている。フードパントリーでは月1回10世帯ほどに野菜などの食糧を他機関と連携を取りながら支援できてよかった。コストコと連携することでひとり親家庭への支援が定期的に行えるようになったことにつながりができた。</li><li>・子育て支援 週1回こども広場として保育ボランティアが親子で参加できる活動をおこなうことや毎月1回おもちゃ広場を開催することで子育て中の家族とつながり子育ての相談活動につなげている。</li></ul>
----------------------------	---